

こどもの日

2023.5.1 校長 西谷 秀幸

一昨日から、ゴールデンウィークが始まりました。今日と明日は学校がありますが、明後日、水曜日から5連休です。みんな4月6日から新しい学年、クラスで頑張っていたので、ゆっくり休んだり、たくさん遊んだりして、楽しい時間を過ごしてくださいね。

さて、先週、お話ししたように、今週の金曜日、5月5日は「こどもの日」です。この「こどもの日」は、「子供の幸せを願う日」とすると共に「産んでくれたお母さんに感謝する日」でもあるので、皆さんも「お母さん、ありがとう！」と、ぜひ感謝の気持ちを伝えてみましょう。

ところで、「こどもの日」には、どんなことをしてお祝いをするのでしょうか。

例えば、「こいのぼり」。学校にも、おやじ組のお父さんたちが「こいのぼり」をあげてくれましたね。では、なぜ、空高くあげられるのは、タイとかマグロとかではなくて、「コイ」なのでしょうか？



実は、コイという魚は、流れが速い川でも元気に泳ぎ、こんな風に滝も登ってしまう強い魚なのです。だから、そんなコイのように、子供たちが元気でたくましく成長してほしいという願いが込められています。

次に、「五月人形」。「兜」は、昔、戦いをする人が体を守るために使われていました。だから、子供の身を守って元気に大きく育つようにという意味があります。



3つめは、「かしわ餅」。その名の通り、「柏」という木の葉っぱでお餅を包んだお菓子です。では、なぜ、「柏」という木なのかというと、「柏」が、新しい芽が出るまで葉っぱが落ちないので、「いつまでもその家が子供に恵まれる…」という意味があるのです。



最後は、「菖蒲」の葉をお風呂に入れる「菖蒲湯」です。この「菖蒲」の葉は、香り（匂い）が強いため、病気や悪いものを追い払ってくれるとされています。だから、「こどもの日」に菖蒲の葉を入れたお湯につかるといいのです。



これらのことに共通していることは「子供が元気で健康に成長することを願っている」ということです。皆さんの家でも、ぜひやってみてください。

今日と明日、勉強を頑張っ、明後日からゴールデンウィーク後半を楽しみましょう。

これで朝会のお話を終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

〈先生方へ〉

先週は、離任式ありがとうございました。今年度もリモートでの実施となりましたが、去られた先生方への子供たちの思いが伝わる素晴らしい離任式でした。これまでの準備や指導、ありがとうございました。

今週の学校生活は、いわゆる「連休の谷間」で、今日（月曜日）と明日（火曜日）だけになります。大人と同様に、子供たちもなんとなくぼんやりした状態にいることも想定されますので、様子を見ながら、臨機応変に対応をお願いします。

【資料1】 「こどもの日」について

もともと5月5日は「端午の節句」で、男の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いをする日だった。1948年に、5月5日を「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」祝日と定められてから、「端午の節句の日」が「こどもの日」にもなった。そのため、本来は男の子のための日が、今では子供たちみんなをお祝いするようになった。また、子供のお祝いだけじゃなくて「お母さんに感謝する」という意味もある。

◆端午の節句とは？

もともとは病気や災いをさけるための行事だった。その際に使っていた「菖蒲」が、武士の言葉や道具に似ていることから、だんだんと男の子の行事になっていった。

◆こいのぼりを飾る

「鯉」という魚は強く、流れが速くて強い川でも元気に泳ぎ、滝をも登ってしまう魚であるため、そんなたくましい鯉のように、子供たちが元気に大きくなることを願う意味が込められている。五色の吹流しは、子供の無事な成長を願って悪いものを追い払う意味が込められている。

◆かぶとを飾る

かぶとは昔、体を守るために使われていた。そのため、子供の身を守って元気に大きく育つようにという意味が込められていると言われている。

◆柏餅を食べる

柏の葉で餅を包んだ「柏餅」。柏の葉は、新しい芽が出るまで落ちない、ということから、「子孫繁栄」の縁起を担ぐとされている。

◆菖蒲湯に入る

昔、「端午の節句」では「こどもの日」には菖蒲の葉を入れたお湯につかるといいと考えられていた。菖蒲の葉っぱは香りが強いため、病気や悪いものを追い払ってくれるとされているからである。

【資料2】 子供を伸ばす方法

子供の力を伸ばすためには、次のどれが最も効果的な方法だろうか？

① よいところを伸ばす。 ② 欠点を直す。 ③ ①と②を同じ割合で行う。

人間は、「よいところ」を認められ、ほめられると更に努力をする。心地がよいため、自然に努力をして、どんどん伸びていく。そして、その結果、「欠点」も少しずつ無くなっていく。「よいところを伸ばす」ことが「欠点を直す」ことにもつながるのである。ところが、「欠点を直すように言われる」と気力が減ってしまう。欠点を言われることは嫌なことであり、直したところで人並みになるだけだ。「分かった」と言っても本当は分かっていないことも多い。

先生方には釈迦に説法だとは思いますが、日々の指導の参考にするとともに、何かの機会に保護者にもぜひ伝えていただければ…と思う。（正解①）